

《 みちのく東日本応援プロジェクト 2012年・夏 》

絵本コーチング事務局では7月26日に8人で絵本をたくさん持って、今回は岩手県大槌町小槌地区へうかがいました。これまでに岩手県へお届けした絵本は1059冊になりました。(2012年7月26日現在) いつもご協力ありがとうございます。このプロジェクトは、皆さまのご協力によって成り立っています。引き続き、「東日本プロジェクト」へご協力 ご賛同いただける個人 団体 企業様を募集しています。



詳細はHPの活動報告をご覧ください。 <http://ehon-c.com/michinoku/index.html>

1冊ずつラッピングしています



大槌町に向かいま〜す!



絵本を届けに来ました〜



集会所にて読み聞かせ

募集しているもの

新品の絵本 新品同様の絵本
絵本募金 ゆうちょ銀行 12180 52913541
名義: 東日本絵本を届けようプロジェクト



一月は、被災地を訪れたい。この目で見たい。」という思いでの被災地訪問でした。二度目の被災地訪問の二週間前、九州では大雨が続いていました。私が勤める学校は、川の氾濫により、校舎一階天井まで浸水。教室の中や運動場は土砂で埋め尽くされ、変わり果てた光景に言葉を失いました。泥まみれの子どもの作品や教材を見つけては、「これが遺品にならなくてよかった...」東北の被災地のことが自然と頭に浮かんでいました。

そんな中、大勢のボランティアの方あたたかい言葉、ひたすら作業をされる姿、本当にありがたいなあ」としみじみ感じました。校内だけの人間では、自然と気持ちは下に向かってしまい、外からの空気はなんともうれしく、心がほっとするものでした。ボランティアを受け入れる側を経験した私は、迷っていた被災地訪問を決行することにしました。

大槌町の仮設住宅で、絵本のプレゼント。「絵本いかがですか」と声を出して歩き回る。1月に来たときは、「迷惑になっているのではないかな...」そんな気持ちがありました。そして、今回。「私たちが動いていることで、風が、空気が変わっている。」そんな気持ちで、絵本を持って歩きました。何かをしてあげたいとかいうのではなく、被災地に行く、声を出す、話をする、それだけで何か楽になることがあるのかも知れない。ただ「一緒に居る」ということを自分が感じることが大切なのではないかと思いました。

集会所での絵本の読み聞かせ、おばあちゃんたちが絵本をとっても楽しんでいました。その笑顔で胸がほっこり温かくなりました。同じ空間を味わわせていただき、私はとても幸せでした。「来てよかった〜」人の温かさ、子どもの存在の大きさ、絵本の魅力、たくさんのことを感じさせていただいた時間でした。ありがとうございました。(Gさん 女性)

《 これからの講座案内・イベント情報〜♪ 》

~ 養成講座 実践講座について ~

養成講座 実践講座が1月よりウインクあいちで始まります。日程は1/18 12/16 1/6 1/20 2/10 2/24 3/10 3/24です。それぞれの日程の1週間前までがお申込みの期限です。ただいまお申込み受付中です。

~ 「子どもゆめ基金助成活動」のイベントについて ~

この絵本コーチング事務局では、「子どもゆめ基金助成活動」のイベントをまだまだ予定しています。たくさんの方からの申込お待ちしております。

2012年12月23日(日) 絵本作家サトシ講演会 ウインクあいち 5階小ホール2
2013年2月1日(月祝) 絵本作家高島純講演会 ウインクあいち 1102

2013年1月13~14日(日、月祝) 絵本コーチング指導者講習会 三重県会場 三重県教育文化会館第5会議室

資料請求やお問い合わせは、当事務局までお気軽にメールまたはお電話にてご連絡ください。



〒460-0003

名古屋市中区錦2-17-11-511 NLMデザイン内

絵本コーチング事務局(坂元 村田) TEL.080-4222-2556

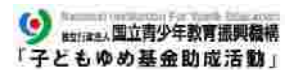
URL <http://ehon-c.com> Mail info@ehon-c.com



絵本コーチ、絵本コーチングは絵本コーチング事務局の登録商標です。



《 子どもゆめ基金 活動報告 》



絵こみゆ春号でお知らせしました「子どもゆめ基金助成活動」のイベントについてのご報告です。

2012年8月1日~2日 絵本コーチング指導者講習会
愛知県会場(ウインクあいち) 参加者アンケートより



毎回違う相手とワークするというのは最初は緊張しましたが、たくさんの方と交流することができてよかったです。思っていたよりも、内容が濃くて 実践的だったのでおもしろかったです。自分を表現するのは苦手なのですが、やり方でこんなに自由な気持ちになれるんだと驚きました。ワークを実際にやるといろいろ見えてきて 相手の思いは言葉でなく しぐさでも掴めるんだなあと思いました。先生の対応がとても丁寧で話し方が優しく ききとりやすかったです。心地良かったです。ありがとうございました。楽しくも緊張しながら講座を受けました。日常の中で子どもたちとのかかわりの中で今回の勉強の成果を生かして行きたい。

2012年8月15日 絵本作家 中村友恵講演会
ウインクあいち 参加者アンケートより



「ふいのちいさな旅」の作者中村友恵さんをお招きしました。当日は開催時刻少し前より雷雨となりましたが、多くの方に足を運んでいただきました。中村さんをかこみ、参加者の方と近い距離でお話しを伺ったり、質問に答えていただいたりと和気あいあいと進みました。中村さんの世界に引き込まれた2時間でした。(写真左は講演会の様子)



作 中村友恵 絵 齋藤ナオ 山川印刷所

対話形式の講演会は作家さんが 自分から語り切れない部分も引き出していく感じがしました。また、ご本人のご自身の本の読み聞かせは、深い味わいがありました。とっても心休まるひとときでした。中村さんの澄んだ声と心に包まれて..自分の「絵本作家になりたい」という夢に役立つ情報も得られたし、絵本のちからや魅力をあらためて感じることができました。すてきな声での講演ありがとうございました。自分へのメッセージ、よく見つめていきたいと思いました。絵本はどのようにして作られるのか とても面白く拝聴しました。座談会形式やインタビュー形式の講演会は初めてで新鮮でした。絵本をどういう思いで書かれているのか直接聞けてよかったです。読み聞かせで書いた作家に読んでもらえるなんてぜひたくすね。

2012年9月1日~2日 絵本コーチング指導者講習会
岐阜県会場(国立大学法人岐阜大学) 参加者アンケート



「パラダイム」が印象に残っています。子どもにも職員にも柔軟な頭をもち 引き出すことができる指導者になりたいと思いました。「絵本コーチング」という名前から絵本を使って実践的な読み聞かせなどの実践などを行うのかと考えていました。(友人からの誘いで参加したのですが、)私にとっては大変に嬉しい誤算でした。子どもたちの自ら生きる力を引き出す方法など心理学的な勉強をたくさん体感させていただき本当にありがたく思っています。人との暮らしの中で言葉は大切なものだと、あらためて感じ入りました。自分の気持ちを大切にすることは当たり前ですが、時々客観的に自分を見つめる時を持つことに心がけたいと思いました。そしてうなずくことで人の心が動くということにも気づかされ明日から(今から)うなずき美人になれるよう人生を楽しみたいと思います。ワークを通して今まで 自分がどれだけ 自分の思いだけで相手に接してきたのかを痛感しました。正しいとか、正義とかの言葉を出しては、子どもの心をばっさり斬ってきました。これからは 客観的に観察する力を付けていきます。

2012・7・28～29

大沢温泉 山水閣にて



受講風景



宿の前で集合写真 「はいチーズ！」

《 ブラッシュアップ講座 参加報告 》

内容が盛り沢山で、研修中について行くのに一杯という感じでした。研修後に日常生活の中で新たな視点や気づきを得ています。

特に「きつねのパンとねこのパン」からのワークで、人との関係性をそれぞれの立場から見て行くと、頭の中で考えていたのと違う部分や感覚があり、体験することで得られる今まで気づかなかった自分自身の感情や考え方、相手の洞察が生まれてきました。

そして、後からレジュメに書かれていた記録を見てハッとしたのですが、書かれていた事は、普段の自分の姿勢でした。私って「そういうところ、あるよね」と自分で納得してしまいました。これから、人との関係性を築いていく上で、自分があるべき位置関係をイメージしながらかわらうと思っています。それとA K Vやタイムラインも面白かったです。

これを知っていると、自分の中で過去に経験したことの感情や考え方を変えることができるのではと思いました。

今回は、時間をたっぷり使って、内容の濃い研修と感じました。ワーク等の内容も勿論ですが、コーチとしてのあり方全般を教えて頂きました。

リードするコーチの力量があれば、絵本コーチングは素晴らしいものになるし、力量がなければつまらないものになる危険があります。普段からアンテナを高くして、自分自身を含め、まわりの人に質問と洞察、研究をとことんやって行きます。(Sさん 女性)



遠野の語り部さん訪問(オプション)

むかし、あったずもな、...

そんな言葉からはじまる優しい語り、語り部さんの菊池さんから聞かせていただきました。

昔話は、教えが必ず入っているけれども、それが何かは言わないことになっているんです、と、聞いたその人が自分で受け取っていくこと...

大切なことは、いにしえから伝わっているんですよ。

大学時代に、一度は聞いてみたいと思っていた語り部さんによる昔話。15年越しの願いが今宵、叶いました。

どんとはれ。(Sさん 女性)

今年の4月に初めて「絵本コーチング」に出会った私にとっては、今回の講座の中で学んだこと、体験したことは初めてのことでばかりでした。

ワークを通して自分で全く気付いていなかった自分、自分の考え方、物の見方など実に多くのことに気付く事ができました。これまでの考え方、五感の使い方などを見直し、今後に活かせる多くのヒントをもらいました。帰ってから以前のような状況に接したのですが、その際、講座に参加する前には思っていなかったことを感じました。私にとっては「気づき」です。他にも気づいたことを自覚した自分がありました。驚きです。人はいくつになっても変わるものですね。

家族以外の人たちと宿泊を伴う旅行に参加するのは何十年かぶりのことだったので、不安もありましたが、参加して本当によかった

のは気持ちが楽でした。また向上心を持った方たちと過ごせたことでとてもよい刺激をたくさんいただきました。

この講座に参加する機会にめぐまれたこと、素敵な方たちと出会えたこと、気持ちよく出席させてくれた家族に感謝です。ありがとうございました。(Mさん 女性)



《 おすすめ絵本の紹介 》

タイトル 「かかかかか」
作者 五味太郎 作(絵) 出版社 偕成社
絵本のツボと魅力

文字は「か」しか出てこない! 絵がすべて「か」で始まるものなのがツボ!

特徴は文字と音「だけ」でおはなしが進むこと。魅力は資格と聴覚だけでなく触覚も刺激してくれるし、絵はシンプルなのに情景が豊かに浮かぶところです。(Yさん 女性)



タイトル おかあさんがおかあさんになった日
作者 長野ヒデ子 作(絵) 出版社 童心社
絵本のツボと魅力

おかあさんは、いつからおかあさんなんだろう...そんなことを考えた時、子どもが生まれた時が、おかあさんがおかあさんになった。子どものおかげでおかあさんになれたのよ...でも、おかあさんも子どもなんだよね。読むたびにそんな複雑な気持ちにさせられます。(Kさん 女性)



《 絵本コーチの活動 》

中日文化センター講師

3回の講座を、させていただきます。中日文化センターは、若い頃花嫁修業?にいるんな講座に通ってました。そこへ講師として行く~感動と緊張~しかも、昨年度から参加いただいている方と、絵本コーチングを全くご存じない方がいらっしゃる。幸い2回目以降も参加いただきほっとしました。そして、何人か絵本コーチングを深めたいと連続講座や初級絵本コーチ養成講座に参加されました。ご縁に感謝。(Mさん 女性)



トワイライトスクール 絵本コーチング七夕講座

私は、小碓小学校の、トワイライト(放課後に児童を預かる施設)で、年4回ほど絵本コーチングをしています。もう5年目に入りましたが、行くたびに、毎回新しい発見があります。

その時は、なぜか、やる前にすごく不安でした。前日まで、活動案、流れ?内容、言葉かけの吟味...などの要素を書き出し、意図をチェックしました。七夕なので、夢をもつ...と、いうことでブレインストーミングと、短冊に夢を書くワークをする準備も終わりました。が、まだすっきりとしません。ふと、別の本が目につきました。「これがいい!」今まで離れていたものがつながった気がしました。

講座は、絵本を信じ、子どもを信じ、自分を信じ、AFさん(手伝いの職員)を信じ、みんなで、作っていったのがうれしかったです。(Tさん 女性)

PTA六年生の親子レク

盛岡市内小学校PTAからの依頼により、六年生の親子レクで絵本コーチング講座をさせていただきました。

初めは、恥ずかしがっている方が多く見受けられましたが、大人と児童が混じってお互いの思いを伝え合う場面では、笑いあり、涙あり、拍手ありグループごとに様々な触発が起きていました。

参加者からは、「自分の違う一面を発見した!」これから物事を色々な角度から見たり考えたりできるかも」などの感想をいただきました。(Sさん 女性)

《 連続講座の受講後感想 》

自分を振り返ったり観察するきっかけができ、気づきや発見があって、だいぶ生きやすくなりました。また、何かいやなことや困難にぶつかった時には頭を柔軟にし、いろいろな視点で見るようになりました。自分を観察し「分離」することで、気づきや選択肢が生れてくるのを体感したので、これからも実践していきたいです。(Tさん 女性)

連続講座に参加する前は、主人といつも喧嘩をしていました。食事の時は、楽しく会話をするべきなのに~など。こうあるべきと、主人や子供にふりまわされていました。講座の中で自分の枠に相手をあてはめていたことに気づきました。今では、主人は主人、子供は子供、私は私と、自分が自由になりました。そして自分の時間を楽しめるようになりました。「マイルーム」までつくりました。(Yさん 女性)

問題が発生した時、それなりに考え結果を出して(出ないときもありましたが)きたつもりでいました。が、この講座を受講させていただき、もっとほかの見方、考え方、やり方があることを実感させられました。自分をゆったりと見つめられるようになった感じがしています。(Hさん 女性)

父の死を受け止めていなかったことに気がつくことができた。明るい言葉に反応することが増えてきた。自分を振り返ることや、自分の反応に気づかなかったが次第に振り返ることができるように(後から思い出すことができるようになってきた。(Kさん 女性)

